

令和 2 年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	鹿屋市アジア・太平洋農村研修村民族館（以下「鹿屋市民族館」）
所在地	鹿屋市上高隈町3779番地 1
指定管理者	名称： <u>大隅湖観光管理組合</u> 代表者： <u>岡本 孝志</u> 住所： <u>鹿屋市上高隈町1910番地 3</u> 連絡先： <u>0994-45-2770</u>
モニタリングの実施経過	●月例報告（毎月） ●現地調査（毎月） ●その他（指定管理者との協議）
担当部課（問合せ先）	市長公室 地域活力推進課 電話 0994-31-1147（内線3553）

【モニタリングの総合評価】

大隅湖観光管理組合は、平成19年度から鹿屋市民族館の指定管理者である。

民族館の利用者数は、平成19年度以降しばらくは年々増加し、平成24年度にピークとなる10,740人を記録したが、その後現在に至るまで減少を続けている（令和2年度の利用者数 4,744人）。

令和2年度は、利用者数の増加を図るため「出張民族館inリナシティかのや」の開催や鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター（以下「カピック」）と連携したスタンプラリーの実施、新たなパンフレット等の作成などに取り組んでいたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、前年度比2,456人（34%）の減少となった。

利用者数の減少を食い止め、利活用の向上を図るため、今後はコロナ禍でも利用者が楽しめる仕組みづくりや定番イベントの内容見直し、新たな事業にも取り組んでもらいたい。

施設は、日々館内の清掃や展示品のメンテナンスが行われ、適切に維持管理、運営されている。

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

- ・ホームページやSNSを活用した効果的な情報発信や、イベント出展等による鹿屋市民族館の認知度向上に取り組むこと。
- ・定番イベントの内容を見直すとともに、新たな取組の検討を行い、リピーターと新規客層の獲得に取り組むこと。
- ・来館者アンケートの結果を分析し、自主事業の企画、実施に活かしていくこと。

《施設所管課が実施・検討する事項》

- ・民族館の在り方や、今後の経営戦略の検討
- ・カピックや周辺観光スポット等と連携した広域的な取組の検討
- ・市内外における民族館の認知度向上に向けた取組
- ・老朽化に伴う施設や備品等の計画的な修繕
- ・指定管理業務内容の見直し
（現在、市で対応しているゴミ収集業務委託やAED貸借契約等の追加）

(1)基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

①合目的性・公平性・効果性

鹿屋市民族館は入館料無料の施設であり、隣接するカピックと共に、国際交流の拠点として位置づけられている。異文化体験の場として民族楽器等の展示品に触れ、民族衣装を試着できる特徴的な運営を行うほか、所蔵品を活用した学校等への出前講座の実施により、国際性豊かな人材育成に寄与している。

(2)業務内容

①機能性・独創性（事業への具体的な取り組み方）

- 事故 0件
- 市民からの苦情 0件

○イベント実績

(1)実施イベント

イベント名	実施日 等	内 容	来館者
イングリッシュ キャンプ	8月4日（火） 8月8日（土）	カピック主催事業。 小学生等を対象にした英語イ ベントに、会場として参加	107人
大隅湖サマーキ ャンプ	9月1日（火）	出店を集めたキャンプイベン ト	37人
千本イチョウス タンプラリー	11月21日（土） ～12月13日（日）	カピックとの共同事業。垂水市 の千本イチョウでスタンプラ リーのチラシを配布し、民族館 とカピックの周遊者を対象に 実施したプレゼント抽選会	831人
計			975人

(2)新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止されたイベント

イベント名	実施日 等	内 容
センターフェス タ 世界の味め ぐり	4月	カピック主催事業。世界の料理の試食イ ベント。民族館はスタンプラリーの会場 として参加
高峠つつじスタ ンプラリー	4月下旬～5月上 旬 ※臨時休館のため 不参加	カピックとの共同事業。高峠つつじ園で スタンプラリーのチラシを観光客に配布 し、民族館とカピックを周遊した来館者 を対象に実施したプレゼント抽選会
丸山茂樹 民族楽器ライブ	5月	東京在住の音楽家による民族楽器を使っ た「一ヶ月毎日ライブツアー」
Rufty Softyライ ブ&ワークショ ップ	8月	アイルランド・スコットランド民謡奏者 によるライブ演奏会
兵法タイ捨流演 武	8月	熊本県八代市に伝わる剣術の演武会
大隅レイクサイ ドフェスティバ ル	10月	大隅湖レイクサイドフェスティバルの実 施に合わせて、開館時間を延長
クリスマスイベ ント	12月	バイオリンなどを用いたクリスマスライ ブイベント
大隅レイクサイ ドミーティング	3月21日（土） ～22日（日）	全国のハーレーオーナーが集まるキャン プイベント

○出展実績

リナシティかのやで出張展示を行い、来場者に異国の楽器や衣装、玩具（ボードゲーム）等を体験してもらった。併せて、来場者には民族館のパンフレットやイベント情報等の配布を行い、周知・広報活動を行った。

イベント名	実施期間	参加者
出張民族館 in リナシティ かのや	1月13日（水） ～1月31日（日）	計 239名 （大人184名、子供55名）

○出前講座等の実績

学校からの要請に応じた出前講座を実施した。併せて、訪問先の学校に民族館のパンフレットを配布し、広報活動を行った。

講座名	実施回数	参加者数
馬頭琴試奏体験	2回	計123名 （内訳） 田崎小学校 109名 稗川小学校 14名

②責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

地域住民やカピックと連携を図りながら、大隅湖観光管理組合の組織体制の下、職員1名、パート職員1名を配置し、常時来館者に対応できる体制を整えている。

③明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

基本協定書で定められた期間内に事業報告書を提出し、事務及び作業内容、管理経費収支の報告を行っている。

④安全性（安全管理・緊急時等の対応）

- ・身障者や高齢者の来館時は玄関前まで自動車を誘導し、入館に困難がないよう、配慮している。
- ・職員は、定期的に施設内外のパトロールを行っている。
- ・来館者が使用する楽器や玩具は、日々の業務において棘などが出ていないか安全性を確認し、メンテナンスを行っている。
- ・緊急連絡網を作成し、緊急時には関係機関へ速やかに連絡できる体制を整えている。

⑤社会性（環境等への配慮）

施設内外は定期的に清掃し、節電を心掛けるなど、環境に配慮した施設運営を行っている。

(3)事業収支

①経済性

雑貨の販売や喫茶コーナーの設置、ビーズ作り体験などのサービスを提供し、来場者の満足度向上に努め、収益向上に取り組んでいる。

(4)団体の経営状態

①経営の健全性

指定管理委託料以外の収入確保の取組として、コーヒー等の飲料や雑貨の販売などを行い、支出についても概ね計画どおり実施されている。

施 設 概 要 調 書

1 施設の概要

施設名	鹿屋市アジア・太平洋農村研修村民族館		所管課：地域活力推進課
所在地	鹿屋市上高隈町3779番地 1		設置年月日：平成 9 年 4 月 1 日
設置目的	市民に異文化体験の場を提供し、国際感覚の醸成と内外交流の増進を図り、地域国際化の進展に寄与する。		
設置の根拠 (法令、条例等)	鹿屋市アジア・太平洋農村研修村民族館条例		
施設の概要	設備の概要	敷地面積	30,971.57 m ²
		延床面積	434.60 m ²
	《有料》		
		内 容	料 金
		喫茶コーナー	珈琲 250円 紅茶 250円 ごぼう茶 250円 ジュース 150円
	世界の雑貨販売	商品による 100円～	
	ビーズアクセサリー作り	材料代(館内作製) 100円 作製キット 150円 完成品の購入 200円	
	《無料》 入館料無料		
事業概要	(1) 観光、研修等の多目的使用 (2) イベント等の開催		

2 経営分析評価指標

①事業収支	649千円	④外部委託費比率	7.9%
②利用料金比率	—	⑤利用者あたり管理運営コスト	1,887.4円/一人
③人件費比率	59.0%	⑥利用者あたり自治体負担コスト	1,939.3円/一人

※ 少数点第 2 位四捨五入

3 運営状況

項目	実施計画（事業計画書より）	実施内容（実績）
開館日数	310日	290日 ※新型コロナウイルス感染拡大により、臨時休館期間あり
開館時間	午前 9 時から午後 5 時	午前 9 時から午後 5 時
事業開催	<p>①広報事業 認知度を高め、来館者数を増やす。 (パンフレットの作成、SNSによる情報発信、県内各地で開催されるイベントへの出展 等)</p> <p>②イベント事業 定期的にイベントを開催し、リピーターを増やす。 (カピック共同スタンプラリーの実施、民族楽器ライブ 等)</p>	<p>①広報事業 ・各種イベントへの出展 ・出前講座の実施 ・出張民族館の実施 ・ホームページ及びFacebookを用いた情報発信</p> <p>②イベント事業 ・カピック共同イベントの開催 ・カピック主催スタンプラリーへの参加 ・大隅湖サマーキャンプの実施</p>

	<p>③有料サービス事業 来館者の満足度向上を図る。 (喫茶メニューの提供、土産物販売、クラフト体験)</p> <p>④支援事業 学校等による民族館活用を図る。 (各種学習プログラムの作成 等)</p>	<p>③有料サービス事業 ・飲料品の提供 ・世界の雑貨販売 ・ビーズアクセサリ作り体験</p> <p>④支援事業 ・学校等への出前講座の実施</p>
--	---	--

4 利用実績

項目	実施内容（実績）		
	大人	子供	計
市内	1,600	1,038	2,638
市外	1,745	361	2,106
合計	3,345	1,399	4,744人

5 事業収支

(単位: 千円)

項目		実施計画 (事業計画書より)	実施内容 (実績)
貸し室等利 用収入	会議室 1	-	-
	会議室 2	-	-
	会議室 3	-	-
	計	-	-
その他料金収入		0	
自主事業収入		1,000	403
指定管理料		8,364	9,200
その他収入		0	0
収入計 (A)		9,364	9,603
事業費		500	120
人件費		4,920	5,280
修繕費		50	51
通信運搬費		140	97
施設管理費		1,200	1,200
印刷製本費		0	0
光熱水費		960	1,025
委託料		650	708
保険料		30	0
租税		427	0
雑費		62	0
管理費		425	473
支出計 (B)		9,364	8,954
収支 (A) - (B)		0	649

指定管理者自己評価表

令和 3 年 6 月 8 日

指定管理者

大隅湖観光管理組合

施 設 名 鹿屋市アジア・太平洋農村研修村民族館

確認事項		自己評価
履行確認	1 協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた管理運営を行っているか	3・②・1
執行体制	2 人員の配置が適切であるか	3・②・1
	3 従業員に対し、業務に必要な研修や教育を適切に行っているか	3・②・1
	4 就業規則等を遵守し、雇用者の労働環境を確保しているか	③・2・1
	5 個人情報の取扱いは適切に行っているか	③・2・1
安全対策	6 危険箇所の把握及び点検を行い、利用者等の安全安心に努めているか	③・2・1
	7 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であるか（緊急連絡網や初動対応要領の作成等）	③・2・1
サービスの質	8 親切丁寧な接客に努めているか	③・2・1
	9 利用者からの苦情等に対し適切に対応しているか	③・2・1
	10 特定の者に有利又は不利な取扱いをしていないか	③・2・1
	11 サービス向上及び利用促進のための取組を行っているか	③・2・1
報告事項	12 利用者の満足度調査（聞き取りを含む）等を行っているか	③・2・1
	13 施設の破損及び異常について、速やかに対応し、市へ報告しているか	③・2・1
経営状況	14 利用者数や稼働率等は適切な水準であるか	3・②・1
	15 事業収支は妥当であるか	3・②・1
総合評価 (所感)	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的にみ利用者からの反応は良好である。 ・定期的に来館する固定客によるクチコミや、新たに作成したポスターやパンフレットの効果により、新規来館者が増え始めている。 	

【自己評価の採点基準】「3」…優 「2」…良 「1」…可

※ 総合評価（所感）の欄には、年間を通じた指定管理業務において評価できる点や改善点・反省点を踏まえた所感を記載すること。